

システム開発の嘉創、秋田県仙北市に事業所

2023/8/29 20:06 | 日本経済新聞 電子版

システム開発の嘉創（東京・中央）は秋田県仙北市に事業所を新設し、29日に秋田県や同市と立地協定を結んだ。JR角館駅近くで9月1日に事業を始める。秋田新幹線で東京駅から約3時間で移動できる立地環境、県の人材採用への支援のほか、市が国家戦略特区に指定されIT（情報技術）、あらゆるモノがネットにつながる「IoT」のサービスの実証実験がしやすい環境にあることを進出理由に挙げた。



嘉創は秋田県や仙北市と立地協定を結んだ（秋田県庁）

事業所はコワーキングスペースを中心とした施設「ORENCHI（おれんち）」に設けた。王玉冬社長によると、スタッフは2人でスタートし、3～5年後には新たに建物を手当てして18人まで増員する計画だ。

嘉創は2010年創業。システム開発やセンサー、植物の水耕栽培装置などを手掛ける。佐竹敬久知事は「牛舎のDX（デジタルトランスフォーメーション）や農業のスマート化など県のプロジェクトにも大きな期待を持っている」と語った。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

NIKKEI Nikkei Inc. No reproduction without permission.